


料金後納
郵便

郵便はがき

株主通信 第36期（平成22年12月期）中間
（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

 日本セラミック株式会社

株主名簿管理人事務取扱所
中央三井信託銀行 証券代行部
168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
（証券代行事務センター）
電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）

3329

ご案内は内側にあります。矢印方向にゆっくりといねいねに開いて中をご覧ください。

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援とご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、当社第36期上半期（平成22年1月1日から平成22年6月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

平成22年9月

代表取締役社長兼会長 谷口 義晴

業績の概況

当第2四半期連結結果計期間における世界経済は中国など新興国の景気拡大に伴い回復傾向にありましたが、欧州の信用不安や米国経済の先行き懸念など不透明感があり、わが国経済も不安定な雇用情勢、円の独歩高傾向、デフレ懸念など引き続き厳しい状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループにおいては、自動車、家電、デジタル機器などの業界において生産が堅調に推移していることから、安定供給を図ると共に、新製品の開発とあわせて受注の拡大に努めて参りました。

その結果、第2四半期連結結果計期間の当社グループの売上高は安定して推移し8,260百万円（前年同期比45.3%増）となりました。利益面では、研究開発費の増加等により販管費が増加しましたが、売上高の増加、原価率の改善により営業利益は1,134百万円（前年同期比324.0%増）となりました。経常利益は受取利息等の収入等から1,204百万円（前年同期比162.0%増）、四半期純利益は貸倒引当金繰入額の計上を行った結果717百万円（前年同期比141.9%増）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,951百万円増加し28,236百万円となりました。その主な要因は、利益の増加、

支払条件の変更等から現金及び預金が1,780百万円増加したことなどによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し13,040百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,042百万円増加し3,832百万円となりました。その主な要因は、支払条件を変更したことにより支払手形が1,402百万円増加、また、未払法人税等が299百万円増加したことなどによりです。

純資産合計は、前連結会計期間末に比べ112百万円減少し37,445百万円となりました。その主な要因は四半期純利益の増加等により利益剰余金が319百万円増加、為替換算調整勘定が352百万円減少したことなどによりです。

当第2四半期連結会計期間の連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益1,024百万円、仕入債務の増加額1,489百万円等により2,677百万円の収入（前年同期2,469百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、設備投資による有形固定資産の取得312百万円、投資有価証券の取得309百万円などによる支出、また、有価証券の償還による収入404百万円等により107百万円の支出（前年同期2,620百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、親会社による配当金の支払381百万円等により488百万円の支出（前年同期640百万円の支出）となりました。

以上の項目に換算差額を調整した結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は1,885百万円増加し8,523百万円（前年同期6,971百万円）となりました。

売上高	8,260百万円	対前年同期四半期増減率	45.3%
営業利益	1,134百万円	"	324.0%
経常利益	1,204百万円	"	162.0%
四半期純利益	717百万円	"	141.9%

会社概要

平成 22 年 6 月 30 日現在

商号	日本セラミック株式会社
英文	NIPPON CERAMIC CO.,LTD.
設立	昭和 5 0 年 6 月 2 8 日
事業内容	セラミックセンサ、フェライト、モジュール製品などの電子部品並びにその関連製品の開発及び製造販売を主たる事業として行っております。
資本金	10,241 百万円
従業員数	2,297 名(連結) 269 名(単体)
事業所	本社 南栄工場 湖山工場 先進技術開発研究所 八東研究所 東京営業所 大阪営業所 堺事務所

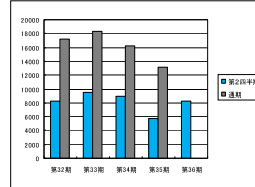
株主メモ

事業年度	1 月 1 日から 1 2 月 3 1 日まで
定時株主総会	毎年 3 月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年 1 2 月 3 1 日 その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目 3 番 1 号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店並びに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	1 0 0 株
公告方法	電子公告
ホームページアドレス	http://www.nicera.co.jp/
上場金融商品取引所	東証 1 部 大証 1 部

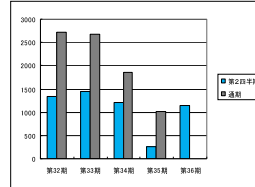
決算ハイライト

■ 第 2 四半期 ■ 通期

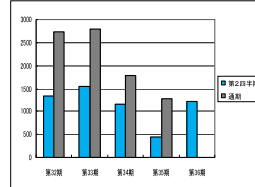
売上高 (百万円)



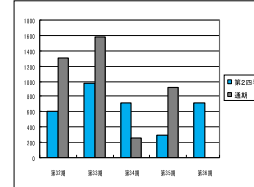
営業利益 (百万円)



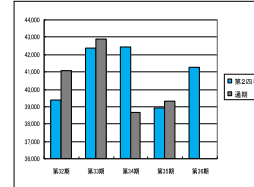
経常利益 (百万円)



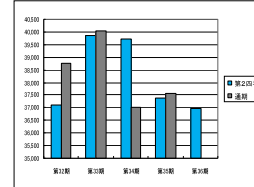
四半期(当期)純利益 (円)



総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



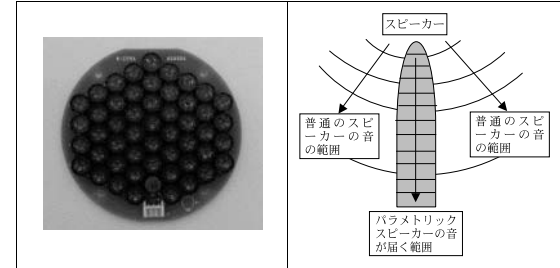
トピックス

当社は昭和 50 年にセンサメーカーとして創業を開始し、以来住宅用向けの照明・防犯・防火各センサ、家庭電気製品用センサ、自動車向けセンサ等を開発、製造、販売しております。

これらのうち、当社が当上半期中に新たに取扱いを開始いたしました製品をご紹介します。

パラメトリックスピーカー

音の伝わり方



～音マジック～

身の周りでは様々な音が発生しています。そのため必要な音が聞き取れなかったり、不必要な音を聞かされたりというご経験はありませんか。

従来スピーカーはエネルギーが円弧状に広がるため聞こえる範囲を限定する事は困難です。また速くなるほど減衰が大きくなり遠方に音を届けることも困難です。

当社の超音波を使用したパラメトリックスピーカーは、音の聞こえる範囲を限定でき、さらに遠方まで音を届ける事が出来ます。
こうしたスピーカーは、駅の切符販売機や銀行のATMさらにはエスカレーターアナウンスといったところでの利用の拡大が見込まれます。